

みんなの南アルプス

発行 南アルプスを未来につなぐ会 電話 054-221-2963 (事務局)



晩春の万之助カール (一般財団法人南アルプスみらい財団提供)

第7号発行

静岡市街ではサクラの時期が終わり、新茶の季節に変わりつつあります。

南アルプスの高標高部では残雪があり、まだ簡単に登頂できる状況ではありませんが、4月下旬に南アルプス登山の拠点となる榎島に向かう林道が通れるようになると、麓では夏のシーズンに向けて活動が活発になっていきます。

さて、第7号では、つなぐ会設立以来、皆様から御意見をいただきながら策定を進めてきました「南アルプスが輝く未来デザイン」のお披露目、つなぐ会主催のシンポジウム、高山植物のドローン調査、高山植物種子保存プロジェクトへの新規参加、南アルプス登録10周年ユネスコエコパークフェアの開催などについてお伝えします。

「南アルプスが輝く未来デザイン」を作成しました！



南アルプスは、世界の人々を魅了する、高峰を抱く日本の屋根です。多くの貴重な動植物が生息し、古くから地元の人々の心の支えとなって、数々の伝統文化を生み出してきました。しかし、静岡県域の南アルプスの魅力は知られておらず、訪れる人も他県の南アルプスに比べて少ない現状にあります。

そこで、つなぐ会では、静岡県域の南アルプスの自然や文化の魅力を引き出し、それを現代の地球や社会の急速な変化の中で未来へつなぐにはどうしたらいいかを考え、皆様からの御意見をいただきながら「南アルプスが輝く未来デザイン」の作成を進めてきました。

このたび完成に至り、本会のシンポジウム（次ページ参照）において、お披露目しました。

多くの方に読んでいただくために、中学生を質問者にして、南アルプスの天狗さんとライチョウさんに自然の魅力を聞き、おじいちゃん「てしゃまんく」という地元の伝説の英雄に南アルプスの恵みで築かれた文化を語ってもらっています。



この冊子を一人でも多くの方々に目を通していただき、「南アルプスファン」になり、南アルプスの未来について考えていただければ幸いです。

また、作成にあたり、数多くの御助言をいただきました理事の皆様、会員の皆様、誠にありがとうございました。

本誌は、下記URL、右のQRコード（Shizuoka-ebooks）から閲覧することができます。



https://www.shizuoka-ebooks.jp/?post_type=bookinfo&p=12805

つなぐ会主催のシンポジウムを開催しました！

令和6年3月27日（水）、静岡市内のホテルを会場に、令和5年度の南アルプスを未来につなぐ会の定期イベントとなるシンポジウムを開催しました。シンポジウムのテーマは「南アルプスの魅力と未来を語る！～現代の冒険と挑戦～」です。

シンポジウムでは、NPO法人エコプラス代表理事で本会副会長の高野孝子様、静岡市在住の登山家である大石明弘様、（一社）屋久島アカデミー代表理事の小原比呂志様に活動紹介をしていただきました。

その後、山極壽一会長をコーディネーターとして、活動紹介をしていただいた3人をパネリストとしてパネルディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子

高野様からは、環境教育では「場」や「人」から得られる学びが多い。南アルプスは文化だけでなく、地質や植物、昆虫も面白いので、いくらでもエコツーリズムの企画はできるとの話がありました。

大石様からは、南アルプスはポテンシャルがあるが、行き方のハードルが高いので、拠点となる榎島でのイベントを開催するなど行きやすくする工夫が必要との話がありました。

小原様からは、屋久島での経験から、頂上に到達することだけでなく、登山途中の魅力を楽しむ取組が広がっているとの話がありました。

また、山極会長からは、南アルプスは、人々を引きつける自然と文化の大きなポテンシャルを持っているとのまとめがありました。

イベントの様子は動画収録しており、静岡県のYouTubeアカウント「みんなの南アルプス」で配信しています。

（右のQRコード）

当日ご参加いただけなかった方も、動画によりお楽しみいただければ幸いです。



生態系を守る取組

高山植物のドローン調査

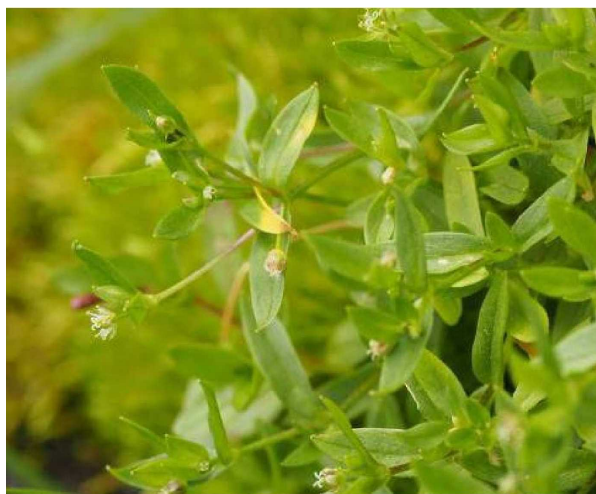
南アルプスには固有種や分布の南限種などが数多く生息・生育していますが、急峻で山域が広大なことから、これまで調査の多くは登山道の周辺に限られていました。そこで、令和3年度からドローン調査を実施しています。

令和5年度は、間ノ岳付近で調査をしたところ、絶滅危惧ⅠA類のカンチャチハコベ（ナデシコ科）を発見しました。カンチャチハコベは、国内では北海道、本州（中部地方）に分布し、亜高山から高山の湿地や岩の間に生育しており、南アルプスが分布の南限となっています。

得られた成果はレッドリストの改定や、有識者とも共有し学術の発展にも活用されます。静岡県では、引き続き貴重な高山植物の保全に努めてまいります。



カンチャチハコベの生育環境



カンチャチハコベの個体

南アルプス高山植物種子保存プロジェクトへの新規参加

南アルプスでは、希少な高山植物が、シカの食害や気象の変化などの要因により、自然環境下で絶滅することが危惧されています。そのため、静岡県と県内の高校が協力して、これらの植物を生育域の外で保全する「高山植物種子保存プロジェクト」を実施しています。

学校法人静岡理工科大学静岡北高等学校からプロジェクト参加の申し出があり、令和6年3月22日（金）に委嘱式を開催し、オオサクラソウの種子を提供しました。



オオサクラソウ



静岡北高校での委嘱式

魅力発信に向けた取組

南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会、公益財団法人イオン環境財団主催『南アルプス登録10周年 ユネスコエコパークフェア』開催

県も会員となっている南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会では公益財団法人イオン環境財団と合同で、令和6年3月16日(土)～17日(日)の2日間、南アルプスの魅力を発信するため、『イオンモール浜松市野』において、『南アルプス登録10周年 ユネスコエコパークフェア』を開催しました。

当日は、協議会を構成する各団体が、ブース出展し、クイズラリーによる景品プレゼントや、VRによる山頂体験、南アルプスの動植物缶バッジなどのネイチャークラフト体験、ジオラマ展示などを行いました。ステージではトークショーや高校生による研究発表などが行われました。また、井川地区や川根本町の特産品や、(株)十山の井川蒸留所のウィスキーを使用したチョコレートの販売が行われました。2日間を通し、大変多くの方にお越しいただき、主催している側としても大変楽しく有意義に過ごすことができました。

南アルプスの素晴らしさを広げていくため、これからもPRしていきます。



パネル展示



VR体験



高校生による研究発表



特産品販売の様子

シリーズ企画：南アルプス探訪

第2号から始めましたシリーズ『南アルプス探訪』。今回は日本列島と南アルプスの形成について御紹介しました。

第6回目となる今回は『南アルプスの岩石』についてです。

テーマ：大井川上流域における地質と地形の成り立ち (第6回：南アルプスの岩石)

赤色チャート（塩見岳天狗岩付近）



(南アルプス学術総論、2010)

赤石山地の名称は、山体の一部を構成する赤い岩石に由来します。赤石岳は標高3120mあり、南側の深い渓谷を形成している赤石沢に、赤い石が多く見られます。

この赤い石は、約1億年前に海底で堆積した海洋性プランクトンの放散虫を起源としています。

放散虫は、大きさが1mmよりも小さく、石英質の殻を持った海のプランクトンです。この放散虫の遺骸が太古の海で大量に積み重なり、チャートと呼ばれる硬い岩石を作りました。

緑色岩・枕状溶岩（塩見岳天狗岩）



(撮影：狩野謙一)

南アルプスの緑色岩は、もともと海洋プレートや海底火山の一部を構成していた玄武岩質溶岩です。その後の変質や変成作用により、緑色になった海洋プレート起源の岩石です。

海底の玄武岩が起源であるため、枕状構造や水中で急激に冷やされて壊れたような岩石構造を伴うことがあります。

硬い岩石であるため、塩見岳、悪沢岳などの山頂部を作っています。

砂岩泥岩互層 タービダイト起源 (南赤石林道 蕎麦粒山付近)



(撮影：狩野謙一)

海には陸地から流れ込んできた土砂が堆積します。南アルプスでは、陸地から流入し海溝や海溝の陸側斜面に堆積してできた砂岩と泥岩の互層が観察されます。

大雨の際に発生する大規模な洪水によって一度、河口付近で堆積した土砂が再び巻き上げられ、河口から海へ、更に浅い海から深海へと運ばれます。その際に堆積した堆積物をタービダイトと呼んでいます。

泥のような細かな粒子ほどゆっくり沈むため、タービダイト層は、下部ほど砂のような粗く大きい粒子が堆積し、上部ほど泥やシルトなどの細かく小さい粒子になります。

石灰岩 (光岳 光岩)



(撮影：高塚雅文)

光岳山頂の南西直下には山名の由来となっている、夕日に照らされると白く光って見える光岩とよばれる岩峰があります。

この白い石は、石灰岩でできており、温暖で比較的浅い海域において堆積したサンゴ礁や貝類などを起源としています。

海洋生物由来の岩石でも、チャートは深海に降り積もり形成されるのに対して、石灰岩は浅い海で形成されるのが特徴です。

出典：南アルプス大井川上流域における
地質と地形の成立 (2020.12)

次回は『南アルプスの地形と崩壊』についてお伝えする予定です。

はじめまして。今号の編集を担当した、自然保護課の高塚です。昨年4月に自然保護課に着任していましたが、この会報誌は初めて担当させていただきました。

南アルプスの担当に着任する前は、自家用車で到達できる最奥となる沼平ゲート（畑薙第一ダムのダムサイト）までは何回か訪れたことはありましたが、その奥は未踏であったため、初めて沼平ゲートを越え、南アルプスの峰々に登頂した時には中々感慨深いものがありました。

昨年度は、業務の関係で8月下旬に聖岳、9月上旬に光岳に登る機会に恵まれ、本格的な登山は20年以上ぶりだったものの、趣味のマラソンで培った体力で、無事に登頂することができました。（前ページの光岩はその際に撮影したものです。）

登頂した日は、いずれも天気が良く、西側は北アルプス～中央アルプス～恵那山を、東側は富士山を一望することができました。

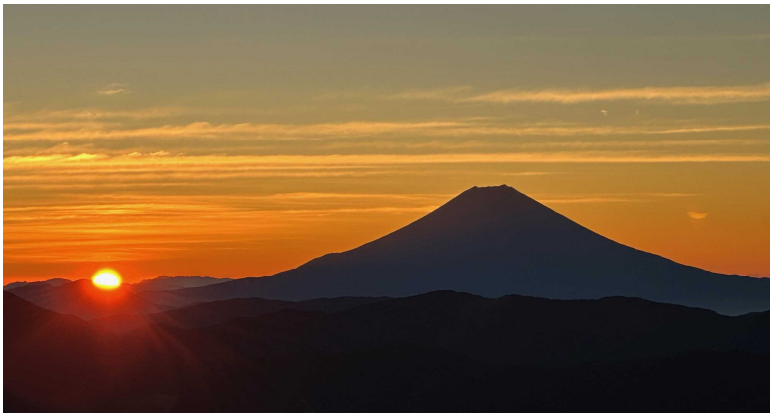
登頂して思ったことは、南アルプスは素晴らしい場所だけど、訪れるには簡単な場所ではないなということです。

光岳小屋に宿泊した際に、たまたま光岳をもって百名山を達成したという方がいたのですが、静岡県域の南アルプスはプランを組むのも色々大変で一番最後にしたとのことでした。



聖岳山頂にて

そのため、本誌を通じて、南アルプスの魅力を伝えていくとともに、関係の業務では、自然環境の保全のほか、南アルプスが少しでも身近になるような取組を進めていきたいと思っています。



イザルガ岳山頂からのご来光と富士山（筆者撮影）

YouTubeやSNSで南アルプスの魅力を発信中！

○YouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」



○「南アルプスを守るお話」（YouTube）



○南アルプスを未来につなぐ会 各種SNS

Instagram



Twitter



Facebook



南アルプス環境保全基金

美しい南アルプスを未来につないでいくため、
みなさまの御支援・御協力をお願いします！

県外企業はこちら 【企業向けふるさと納税】

- ①静岡県公式ホームページの
サイト内検索で、
「地方創生応援税制」と検索
- ②サイト内の寄附申出書を
所定の提出先へ提出

こちらから
簡単手続き！



県内企業はこちら 【一般寄附】

自然保護課まで
お問い合わせください。

個人の方はこちら 【ふるさと納税】

- ①インターネットサイト「ふるさとチョイス」の
「自治体を探す」で静岡県を選択
- ②自治体一覧から静岡県庁ページを選択
- ③寄附金の使い道で「南アルプスユネスコ
エコパークの保全管理と魅力発信等」を選択

こちらから
簡単手続き！



方法は
3つ！

